

裾野麗峰山の会山行報告書

文・石和、写真・後藤、GPS・村山

山行番 NO. 1546
日時 2013.05.05 (日) 晴
山域 白馬乗鞍岳最高点=2469m
コース 民宿「はばうえ」発7:05—ゴンドラリフト高原駅(839m)発8:00—柵池自然園駅(1829m)着8:33—天狗原—白馬乗鞍岳10:45~11:10—柵池自然園着12:04 駅発12:30—ゴンドラリフト高原駅着13:03—長泉着20:50
標高差 上り・下り 登山口1829m~白馬乗鞍岳2469m=640m
参加者 山岳スキー=後藤、諏訪部、登山=村山、田内、石和

春山合宿3日目も天候に恵まれた。最終日はゴンドラリフトに始発8時に乗り込み20分で柵の森駅、雪道を200m程歩いて移動しロープウェイに乗り継いで5分で自然園駅に着く。約1000mを一気に上がった。(登山届提出のうえ往復乗車券3,000円購入)

ここからは山スキーを楽しむ組と壺足組に別れる。トイレをすませアイゼンをつけ出発。傾斜のある林をちょっと抜けるともう一面雪原で、乗鞍岳は近くにある。広々とした天狗原(2200m)を右手にみて緩やかな斜面を進む。少しすると傾斜が変わった。一面真っ白な大きな斜面がドンッと眼前に広がる。周りには板をはいたり背負ったりしたスキーヤーやボーダーが重そうに登っていく。滑り降りる楽しみの為に登っていく。一方私たちはアイゼンをつけた登山靴でわりと楽にトントンと登る。滑落するような雪質や傾斜ではないので、ひたすら進むだけだ。

さあ平坦になってきた。頂上はどこだ? 雷鳥の絵の石碑が向こうに見えるような…後藤さんがスキー板をはずして休憩の体勢になる。下にハイマツや岩があるココがピークだそう。指標やケルンもあるそうだが、わかりにくい。

二等三角点が標高2436.4mの地点にあり、周辺には2456mおよび2469mのピークがある。それで国土地理院は2469m(注・1)を標高としているそう。そして新潟県と長野県の県境はこの2469mのピークを通るといふ。



天狗ヶ原上り



天狗ヶ原から乗鞍岳

諏訪部さんが見あたらないので、(注・2) 4人で集合写真を撮る。下り始めようとするとき小さい子がやってきた。5歳のボーダーだという、驚いた。後で聞いたら、諏訪部さんとは広い頂上で行き違ったようで、この男の子にも出会っていたそうだ。諏訪部さんを気にしながら下っていくが、後藤さんがサーとスキーであつと言う間に滑り降りていった。

壺足で下る人はほんの少しだけ。それでも登りの半分もかからずに、1時間弱でロープウェイ乗り場到了。振り返って見ると乗鞍岳がとてもなだらかな山容に見えた(後半はもう少し傾斜があつたはずなのに)。すいているロープウェイからは、朝ほどは鮮明ではなくなつたが、雄大な美しい北アルプス白馬連峰の大パノラマが見える。それに別れを惜しんで下つていった。

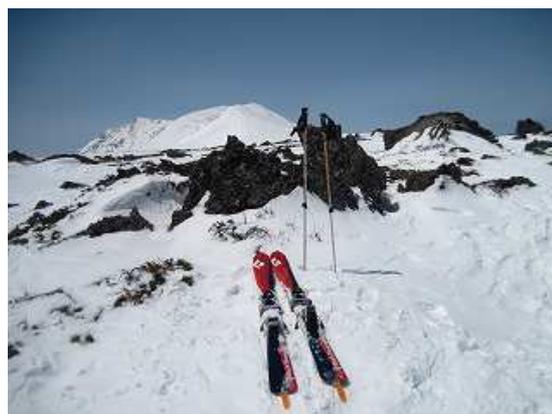
駐車場隣の梅池高原梅の湯で汗を流し、途中そば休憩、安曇野 I.C~精進湖~沼津 I.C 経路で帰路についた。GW 中で中央自動車道に一部渋滞があつたが、ほぼ予定通りで無事帰つてきた。

3日間でそれぞれの雪山を楽しめた。今冬は降雪が多かつたためか花は例年より遅れているようで、多くの種類の花には出会えなかつたが、可憐なその一輪がいとおしく思われた。



乗鞍岳上り

乗鞍岳頂上、向こうは小蓮華山・三国境方面



快晴の頂上



注・1 = 乗鞍岳頂上最高点は、2469mだが、南のピーク2456mから離れているため、殆どの登山者は南のピークで終了する。特に山岳スキーの場合は、平坦部分があるので、南のピークから滑る。

注・2 = 乗鞍岳上りでSさんが遅れ分かれてしまい、結局下山まで会えなかった。後で聞いた話では、南のピーク南の沢状部分を上り大池が見える所まで行って、南のピークに戻って来たようだ。しかし、来た時はすでに皆は下っていた。スキーで探しながら下ったが、分からない訳だ。